

2015 年度の年間活動報告

別府大学夢米（ゆめ）棚田チーム学生代表 織田 祐翔
（別府大学 史学・文化財学科 2 年）

夢米棚田プロジェクトの概要

別府大学夢米棚田チームは、平成 22 年 1 月に別府大学、大分県、大分農業公園との間で別府大学夢米（ゆめ）棚田プロジェクトを立ち上げた。今年で 6 年目を迎える運びとなった。

大分農業文化公園内に復元、整備された棚田 4 段（8a）で史学・文化財学科、国際経営学科、食物栄養学科、発酵食品学科の 4 学科の体制で取り組んでいる。各学科、毎年学科リーダーを選出し、配置しており、棚田活動に参加する学生や他学科と連携している。

・主な活動目的については以下の 5 点が挙げられる。

①食農教育（食の安全や食料自給率、環境問題への理解を促進）を实践。②中山間地域の農業、農村の活性化に繋がる活動を図る。③主体性や社会性、人間関係の構築の仕方を学び、大学生生活並びに社会に出た際の力をつける。④世界農業遺産に認定された国東半島宇佐地域について今年度から 1 年生が学習を進めており、大分県の魅力を学生の視点から独自に発見する。⑤留学生と棚田活動する事を通し、国際交流を図る。

年間活動の紹介

・5 月 9 日 粃播き

この日は多くの学生の参加があり、講義として参加した 1 年生も多く来てくれた。粃播きの体験をする学生が大半だった為、先輩方や文化公園の職員の方々からアドバイスを受けつつ、作業を進めた。棚田活動としては良いスタートとなった。

・5 月 17 日 七島蘭苗の植え付け

今回から七島蘭の植え付けと粃播きの日程の変更があった。この七島蘭に関しては夢米棚田チームの中では一番重要な体験であり、主要目的の一つでもある。今回はなんと地元の小学生と連動して植え付けを行った為、今までとは違った環境下で作業を行うことができた。

・6月7日 田植え

毎年多くの学生が参加してくれる活動の一つで、各新聞社や放送局から取材も受けた。この田植えでは機械を使わず、手植え方式をとっているため、田植えの伝統を学生には学んでもらうことが出来た。また、夢米棚田チームの事をより多くの方に知ってもらえる事にもなった。

・6月14日 稲作穂場草取り（第一回）

穂場の草取りでは、稲のみに栄養を行き渡らせる様に雑草を抜いていくことにした。雑草があるのと無いでは、成長段階に大きな差が生じるため、この作業は非常に重要なものとなる。

・7月12日 米ぬか除草、七島蘭穂場草取り

米ぬかの散布は、各田んぼに米ぬかを播き、水面を覆う作業である。水面上が覆われることにより、水中への日射を遮る。その効果で泥底に潜在する雑草等の光合成・発生を抑える。

・8月23日 稲作穂場草取り（第二回）、七島蘭収穫

今回の活動でも、前回行ったように穂場の草取りを行った。穂場の状況として雑草の繁茂はあまり見受けられなかった。だが、念には念を入れて雑草を取り除いた。また、七島蘭の収穫も行った。七島蘭の成長は前年度と比較すると今年は背丈の変化はあまり見受けられなかったが。今年度の七島蘭は若干大きく感じた。また、大きな病気等も確認はせず、順調な成長を遂げていたのではないかと推察される。

・9月20日 稲作穂場草取り（第三回）

三回目の稲作穂場の草取りを実施した。今年度の雑草の繁殖は前年度と比較してもそこまで生い茂ることはなく、比較的稲作へ栄養が十分に行き渡っているのではと推察することが出来た。

・10月11日 稲刈り、掛け干し

今年も前年度と同じく、稲の成長度合いを確認しながら予定していた日程よりも一週間延期してからの収穫となった。手作業での収穫は学生たちにとって新鮮なものであったため、皆目を輝かせながら活動した。また、稲を刈った後、掛け干しをするという事を初めて知った学生も多く居た。また、午前中は今年度農林水産祭で学生が七島蘭を用いたコースター作成のお手伝いをする事になった為、講師として別府大学を卒業され、現在工芸士として多岐に渡り、活躍されている岩切さんの指導のもと学生たちでコースター作成に没頭した。

・10月24日、25日 農林水産祭

別府公園で開催されるイベントで、多くの大分の食べ物のブースが出展されていた。夢米棚田チームではテント内でお米が抽選で当たるクイズと併合し、棚田やお米をテーマにした展示パネルを設置、発酵食品学科の方で菌体の観察が出来る顕微鏡コーナーも設けた。また、大分県の要請で世界農業遺産に関するアンケートも執り行った。なお、10月31日、11月1日に開催される学園祭「石垣祭」の宣伝も行った。

・10月31日、11月1日 石垣祭

別府大学で開催される学園祭で、一昨年、去年と引き続き、お米の販売や農林水産祭でも用いたパネルを展示し、学生の活動を紹介した。また、今回はお米を使い食物栄養学科で「ライスバーガー」の料理販売で出店もした。これには大変好評をいただき、長蛇の列を作っていたとの報告も受け、非常に嬉しい限りであった。

・11月15日 脱穀

脱穀では収穫した稲作を昔使用した千歯こきや唐箕(とうみ)を用いて行う。昔ながらの脱穀の仕方に参加した学生は興味津々で、お米がどのようにして各家庭にまで届いているかを学んだ。また、この活動で今年度の作業は終了となる。

世界農業遺産体験学習の取り組みについて

・今年度から開始した世界農業遺産体験学習。講義として始まったものだが数多くの1年生がこちらの講義に参加された。講義としては座学と棚田チームの学生と一緒に大分農業公園の方で体験学習をする事である。また、世界農業遺産として認定された国東半島宇佐地域に関する学習をしてもらい、今の農業や伝統的な農業の文化、景観をどのように次の世代が継承していくといいかなどの細部に渡る幅広い学習をしてもらった。

まとめ

今年は、活動日程の変更や世界農業遺産体験学習などの新たな取り組みを行う上で、次に生かせる点や反省すべき点が数多く見受けられた。その点を来年度に生かせるようにすることが最重要であると推察する。

平成27年度 棚田活動報告

別府大学夢米棚田チーム 学生代表
史学・文化財学科2年 織田 祐翔

1. 夢米棚田プロジェクトの概要

- ・平成22年設立。今年度で6年目となる。
- ・文学部、食物栄養科学部、国際経営学部の3学部で取り組んでいる。
- ・各学科リーダーを選出し、学科リーダーが棚田活動に参加する学科の学生をまとめ、他学科との連携を図っている。

2. 活動目的について

- ①食農教育の実践
- ②中山間地域における農業・農村の活性化
- ③主体性・社会性の向上等、社会進出への能力の養成
- ④学生視点での、大分県の魅力の発見
- ⑤国際交流の実践

この5つが主な活動目的となる

3. 年間活動の報告 5月

9日 粃播き

多くの1年生が今期から世界農業遺産体験学習の一環として参加。先輩方・農業文化公園の職員の方々からもアドバイスを頂いた。棚田活動としては良いスタートとなった。

17日 七島蘭苗の植え付け

七島蘭の植え付け作業は、夢米棚田チームとして最も重要な体験である。今年度は、地元の小学生と協同で植え付けを行ったため、違った環境下での作業となった。



七島蘭の植え付けに
舌巻するも、一生懸命
活動!!

年間活動の報告 6月

7日 田植え

手植え方式を採り、機械を使わない伝統的な農業を体験。各新聞社・放送局からの取材にも応じた。田植えの伝統を学ぶことが出来たと思う。

14日 稲作穂場草取り(第一回)

穂場の草取りでは、稲のみに栄養を行き渡らせる様に雑草を抜いていく。成長段階に大きな差が生じるため、この作業は非常に重要なものとなる。



初めての田植え！
一列に並んで作業！

年間活動の報告 7月

12日 米ぬか除草、七島蘭穂場草取り

各田んぼの水面に米ぬかを播き、雑草等の発生を防ぐ。水面上が覆われることにより、水中への日射を遮る。その効果で泥底に潜在する雑草等の光合成・発生を抑える。



七島蘭の穂場の
草取りの様子！



米ぬか除草！
一面を真っ白に！

年間の活動報告 8月

8月23日 稲作穂場草取り（第二回）、七島蘭収穫

前回と同じく草取りを行った。穂場の状況として雑草の繁殖はあまり見受けられなかったが、念を入れて雑草を取り除いた。

また、七島蘭の収穫も行った。前年度と比較すると今年度は背丈の変化はあまり見受けられなかったが、茎は若干大きく感じた。大きな病気等も確認されず、順調な成長を遂げていた。

年間の活動報告 9月

9月20日 稲作穂場草取り（第三回）

三回目の草取りを予定していたが、米ぬか除草の効果もあり雑草がほとんど見られなかったため、実施されなかった。



七島圃収穫の様子！
上の部分を束ねる！

年間の活動報告 10月

11日 稲刈り、掛け干し

別府大学卒業生であり、現在、認定工芸士として多方面で活躍されている岩切千佳さんを講師に招き、七島圃のコースター制作に励んだ。

午後からは稲の収穫を行った。成長度合いの関係から、一週間延期しての活動となった。手作業での収穫や、稲を刈った後に掛け干しをする事等新鮮であった。

年間の活動報告 10月

24日、25日 農林水産祭

別府公園で開催されるイベントで、大分の農林水産物が出展されていた。夢米棚田チームはお米が抽選で当たるクイズを実施したり、棚田やお米をテーマにしたパネルを展示した。本学の発酵食品学科で顕微鏡観察コーナーも設けた。また、10月31日・11月1日に開催される本学の学園祭「石垣祭」の宣伝も行い、同時に大分県からの依頼で、世界農業遺産に関するアンケートを実施した。



七島圃を使って
コースター作成！



稲刈りの様子！
大きく成長した！



稲を刈っていきケガの
無いよう活動中！

年間の活動報告 11月

10月31日、11月1日 学園祭(石垣祭)

例年と同じお米の販売や農林水産祭で用いたパネルを展示し、学生の活動を紹介した。また、お米を使い食物栄養学科で「ライスバーガー」の料理販売も行った。大変好評であった。

15日 脱穀

収穫した稲を昔ながらの方法で、足踏み脱穀機や唐箕(とうみ)を用いて行った。この活動が今年度最後の活動となるため、いつも以上に気合をいれて活動できた。



唐箕を用いての脱穀！
昔ながらの作業です！

3. 世界農業遺産体験学習の取り組みについて

今年度から教養科目として「世界農業遺産体験学習」が始まり、1年生が35名受講した。座学と実習から成り、座学では世界農業遺産について学習をし、実習では夢米棚田チームのメンバーとして大分農業文化公園で体験学習をした。

今回のこの学習を通して、1年生には農業の素晴らしさ、世界に誇れる伝統的な農業をどう守っていくか、次の時代にどう継承していけるかなど、数多くの諸問題に向き合った。若い世代が農業について学ぶ必要性を強く感じた。

4. 今年度のまとめ

今年度は世界農業遺産体験学習などの新たな取り組みを行い、活動に活気が溢れた。その中で、来年度に生かせる点や反省点が見つかり、代々引き継いできた伝統を含め、次世代へ継承することが重要であると実感した。

来年度は、更なる向上・発展を目標に別府大学夢米棚田チーム一同、精一杯努力を重ねていきたいと思います。



御清聴ありがとうございました。